

# 目次

## 第1章 正しい検査・診断と患者説明

1-1 検査・診断および初期治療	10
1) 検査・診断の重要性	10
● 検査・診断から把握すべき患者さんの概要	10
● 問診時のポイント	10
● 口腔内写真撮影に使用した器具	11
● X線写真撮影に使用した器具	12
2) 実際に行った初期治療の手順	12
● 咬合診断に使用した器具	13
● 根管治療/プロビジョナルクラウン製作に使用した器材	13

1-2 患者さんへの説明	14
● 筆者が本症例の患者さんに提示した治療計画書	14
● 知っておこう！ブリッジにするか、インプラントにするかの判断基準	17
● 当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ 歯科用コーンビームCTの活用	19
● 口腔スキャナを用いた診断とカウンセリング	21
● 第1章 紹介器具・器材の関連製品/同種製品	23

## 第2章 治療計画立案後に行った矯正的挺出とCT画像診断

2-1 矯正的挺出の応用	26
● 矯正的挺出について知っておくべきこと	26
● 矯正的挺出に用いた器具	28

2-2 CT画像診断	29
● CT画像診断の有用性	29
● パノラマX線とCTの比較	30
● 当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ ブラケットとワイヤーを用いない矯正的挺出	31

## 第3章 コンピュータガイドシステムによる術前シミュレーションとモデルサージェリー

3-1 インプラント埋入シミュレーション	34
● Simplant®を用いて行ったインプラント埋入シミュレーション	34
● 進化し続けるコンピュータガイドシステム	36
3-2 光造形模型を用いたモデルサージェリー	37
● 光造形模型を用いた骨補填量の診断、骨移植方法の検討	37
● 光造形模型を用いたドリリング、インプラント埋入の練習	38

● コラム 努力なしに得られる技術・知識は存在しない	38
● 知っておこう！審美領域での抜歯後即時インプラント埋入に関する考察	39
● 当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ 抜歯後即時インプラント埋入+骨移植という選択肢	40
● 第3章 紹介器具・器材の関連製品/同種製品	43
● 付録 国内で販売されているコンピュータガイドシステム	44

## 第4章 術前に準備すべき器具・器材と院内のチームワーク

4-1 術前の準備	46
1) 手術室の環境	46
● インプラント手術に必要な手術室の環境	46
2) 各スタッフとの連携	47
● インプラント手術前に確認すべきチームワークと各担当の仕事	47
3) 器材の準備、手術環境づくり	48
● 清潔な手術環境づくりと器材の準備	48
● 本症例で準備したおもな外科器具	49

4) 口腔内環境と術前評価	50
● 口腔内外の環境づくり	50
4-2 静脈内鎮静法の正しい活用術	51
1) 静脈内鎮静法の概要	51
● 静脈内鎮静法に用いる薬剤	51
2) 患者さんへの術前の通達	52
● 静脈内鎮静法に関する患者さんへの術前の通達	52

3) 静脈内鎮静法の留意点	53
● 静脈内鎮静法を行う際に準備すべき器材	53
● コラム 手術室の中に掲示する手術のタイムスケジュール	54

● 当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ 手術前に準備する接着性のテンポラリークラウン	55
● 第4章 紹介器具・器材の関連製品/同種製品	58

## 第5章 骨移植の基本手技と基礎知識

5-1 自家骨の採取・固定・充填	60
1) 切開・剥離と軟組織の除去	60
● 切開および軟組織の除去に用いた器具	60
2) ブロック骨の採取	61
● 自家骨の切除・採取に用いた器具	61
3) ブロック骨の固定・充填	62
● 自家骨の固定・充填に用いた器具	62
5-2 骨移植に関するさまざまな考察	63
● 考察ポイント① 自家骨移植について	63

● 考察ポイント② 骨補填材の使用について	64
● 考察ポイント③ ピエゾサージェリーの有効性について	65
● 骨移植のアシスタントワーク	66
● 当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ 前鼻棘からの骨移植	68
● 付録 国内で販売されているおもなピエゾサージェリー	70
● 付録 国内で販売されているおもな骨補填材	71
● 付録 国内で販売されているおもなメンブレン	72

## 第6章 軟組織移植の基本手技と基礎知識

6-1 軟組織移植の基本手技	74
1) 骨移植した部位の診断/切開線の設定	74
● 骨移植した部位の診断/切開線の設定の手順	74
2) 上皮下結合組織の採取	75
● トンネル形成/上皮下結合組織の採取の手順	75
3) 上皮下結合組織の挿入	76
● 上皮化結合組織の挿入の手順	76
4) 縫合	77
● 縫合の手順	77
● 本症例で用いた拡大鏡およびマイクロスコープ	77

6-2 軟組織移植に関するさまざまな考察	78
● 考察ポイント① インプラント周囲の biologic width について	78
● 考察ポイント② さまざまな軟組織移植・造成法を知る	79
● 軟組織移植のアシスタントワーク	80
● コラム 自分の力量を知り、周囲と連携を図る勇気をもつ	81
● コラム 拡大鏡の有効性	82
● 第6章 紹介器具・器材の関連製品/同種製品	84

## 第7章 インプラント埋入の術前・術中・術後に必要な処置と作業

7-1 インプラント埋入手術前の再診断	86
● CT による術前の再診断	86
● Simplant <sup>®</sup> による診断/インプラント、 サージカルテンプレートの選択	87
7-2 インプラント埋入の手順	88
● インプラントホール形成/インプラント埋入の手順	88
● 考察ポイント 正しいインプラントの埋入位置と ズレないための秘訣	92

● 当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ 骨移植後、インプラントではなく接着性ブリッジを応用	94
● インプラント埋入のアシスタントワーク	96
7-3 インプラント埋入手術後の注意事項	98
● 筆者の医院が患者さんに提示している インプラント手術後の注意事項	98
● コラム 手術後に患者さんへ電話をしていますか？	99
● 第7章 紹介器具・器材の関連製品/同種製品	100

## 第8章 二次手術と印象採得

8-1 二次手術の手順と用いる器具	102
●二次手術時の切開	102
●封鎖スクリューの除去、ヒーリングアバットメントの装着	103
8-2 印象採得の手順と用いる器具	104
●印象用コーピングの試適、オープントレーの製作	104
●トレーと印象パーツの固定、咬合関係の記録	105

●考察ポイント① オープントレー法とクローズドトレー法	106
●考察ポイント② 審美領域のインプラント治療に必要な 歯肉圧排の技術	107
●当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ 口腔内スキャナを用いた印象採得	108
●第8章 紹介器具・器材の関連製品／同種製品	110

## 第9章 プロビジョナルレストレーションの製作と試適

9-1 プロビジョナルレストレーションの製作手順と 用いる器具	112
1) ガム模型の製作	112
●ガム模型製作の手順	112
2) プロビジョナルレストレーションの製作	113
●プロビジョナルレストレーションの製作手順① (ワックスアップ)	113
●プロビジョナルレストレーションの製作手順② (レジンの流し込み、重合)	114
●プロビジョナルレストレーションの製作手順③(研磨)	115

9-2 プロビジョナルレストレーションの試適と ティッシュスカルプティング	116
●プロビジョナルレストレーションの試適と ティッシュスカルプティングの手順	116
●当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ 審美領域のプロビジョナルクラウン	118
●コラム 「いつの日か」を夢見て	119
●第9章 紹介器具・器材の関連製品／同種製品	120

## 第10章 アバットメント製作と技工操作

10-1 軟組織形態の再確認とアバットメントの選択	122
1) 軟組織形態の再確認	122
●本症例で用いた軟組織形態の確認方法	122
●カスタムインプレッションコーピングを用いた場合の 軟組織形態の確認方法	123
2) アバットメントの選択	123
●本症例で使用したアバットメントの特徴と選択基準	124

10-2 アバットメント製作・調整の手順	125
1) アバットメントの製作・調整	125
●アバットメント製作・調整の手順	125
2) フレームの製作	126
●フレーム製作の手順	126
●コラム つねに歯科技工士さんへの敬意を忘れないこと	127
●当時の治療を振り返って 今ならこうする！ こうも使える！ スクリュー固定式補綴	128
●第10章 紹介器具・器材の関連製品／同種製品	130

## 第11章 最終補綴装置の製作と装着

11-1 カラーマッチングおよび陶材築盛に必要な 器具・器材と作業手順 ……………132	11-2 最終補綴装置装着の手順 ……………135
1) カラーマッチング……………132	1) 最終補綴装置(最終グレース前)の調整……………135
●カラーマッチングのための写真撮影……………132	●最終補綴装置(最終グレース前)の試適および調整の手順 ……135
●カラーマッチングおよび陶材築盛に用いた 器具・器材と技工環境 ……………133	2) 仮着セメントを用いた最終補綴装置の装着……………136
2) 陶材築盛……………134	●仮着セメントを用いた最終補綴装置装着の手順……………136
●陶材築盛の手順……………134	●コラム 歯科医師は、歯科衛生士や歯科助手、歯科技工士に 支えられている……………137
	●第11章 紹介器具・器材の関連製品/同種製品 ……………138

## 第12章 メンテナンスの手順と必要事項

12-1 メンテナンスの手順と使用する器具 ……………140	12-2 リコールに応じてもらうための工夫 ……………145
●筆者の医院が行っているメンテナンスの項目 ……………140	●リコールに応じてもらえない患者さんに送る書類 (リコールハガキ) ……………145
●口腔内検査、口腔衛生指導(OHI)、 プロフェッショナルケアに用いた器具 ……………141	●ハガキや電話でリコールを勧めても返事がない 患者さんに送る手紙の例 ……………146
●術後1年6ヵ月、3年の状態 ……………143	●自院の患者さんの転院先が決まったときの挨拶の例 ……147
●術後12年の状態 ……………144	●第12章 紹介器具・器材の関連製品/同種製品……………148

## 第13章 特講：歯科医師が患者さんに詫びるとき

13-1 治療結果に問題が生じ、患者さんに謝罪と対応を 行った事例 ……………150	●症例2：インプラント埋入後に下唇とオトガイ部に 麻痺が発症したケース ……………153
1) 症例1：インプラント埋入後、歯頸部歯肉が 根尖側方向へ退縮したケース……………150	●症例2のインプラント手術後に患者さんに送ったお詫び状 ……………154
●症例1：インプラント埋入後、歯頸部歯肉が 根尖側方向へ退縮したケース……………151	13-2 医事紛争を未然に防ぐためのポイント ……………155
●症例1のインプラント手術後に患者さんに送ったお詫び状 ……………152	●患者さんに署名してもらう手術承諾書の例 ……………155
2) 症例2：インプラント埋入後に下唇とオトガイ部に 麻痺が発症したケース……………153	●患者さんに提示する手術同意書の例 ……………156
	●付録：患者さん側の弁護士が裁判所向けに作成した 証拠保全申立書の例 ……………158
●本書で供覧した症例の総括および反省点 ……………160	